



★「いろいろあって いろいろいい」

私たちは、日々多くの人と関わり合って生活をしています。とっても気の合う友達もいるでしょうし、中には何を考えているのか全く理解できないような人もいるかもしれません。私たちは自分と意見や思考が異なる人と出くわした際に、ともすれば相手のことを否定したり、無視したり、また陰で文句を言ったりしてしまいがちです。でも、よ〜く考えてみてください。実はその人もあなたと同じように、「自分の意見に賛同してほしい」とか「相手から認めてほしい」と考えて行動しているかもしれません。

鉛筆だけでデッサンをしても素敵な作品は描けますが、色鉛筆ならもっとカラフルで素敵な絵が描けるかもしれません。カラフルな絵を描くのなら、できるだけたくさんの種類の色鉛筆が揃っている方がいいですよ！中には明るい種類の色鉛筆もありますが、暗めの色鉛筆が無ければ絵に深みは出ません。お互いが相手の良さを引き立てているからこそ素敵な絵になるのではないのでしょうか。



世の中にはいろんな人がいて、いろんな考え方の下に行動している。自分と違う価値観を持っている人がいることは当然のことで、それに無理して合わせる必要はないと思いますが、その人の意見や、ひいてはその人の人格も尊重できるような大人になってもらいたいと思います。



以和為貴

★「以心伝心」「空気を読む」とは言うけれど・・・

「言葉にせずとも気持ちは伝わるもの」・・・。日本にはそんな表現がたくさんあります。私たち日本人は、相手に対してハッキリとものを言うことが苦手です。古くは聖徳太子が「和を以て貴しと為す」と言った時代から、人とできるだけ対立しないように、オブラートに包んだ曖昧な物言いで相手に伝えることが習慣化し、それが美德とされてきたからです。

現代では、言わなければならない時でも、相手に対して発言することを避けたり諦めたりして、SNSなどのツールを利用しネットの中で心配事を相談したり、不平不満をぶついたりする人が多くなってきています。スマホやタブレットの画面の先には、何干・何万という顔も名前も知らない人がいて、皆さんの心配事の相談に乗ってくれたり、不満や愚痴に共感してくれる人も多くいることでしょう。相手が見えないことも、話しやすさにつながっているのかもしれませんがね。見ず知らずの人であっても、優しい言葉をかけてもらえたりすると、一時は気持ちが楽になることもあるでしょう。でも、あなたが本当に対峙すべき問題は、それだけで解決するのでしょうか？悪くすれば、ネット上で信用していた相手が、実は「なりすまし」だった・・・なんて最悪のケースに至ることもあるかもしれません。



なかなか難しいことではありますが、できることならストレスの原因となっている人や物事に向き合い、自分の気持ちを正直に伝えることができれば、どれだけいいでしょうね・・・。でも、どうしてもそれが無理そうなら、信頼できる大人や相談機関に話を聞いてもらってみたいはかがでしょうか？きっと何か役に立つアドバイスがもらえると思いますよ。そうでなかったとしても、話を聞いてもらうだけでも少しホッとできるかもしれません。

学校外の電話等で相談ができる機関

24時間子供 SOS ダイヤル 0120-0-78310 (固定電話・携帯電話通話無料)

メール相談 soudan@news.ne.jp (受付随時 返信時間平日 9:00~17:30)

スクールネット@伝えんば長崎 (LINE や Web)

- ◇ 相談内容：いじめや友達のこと、学校のこと、子供や家族のことなど
- ◇ 相談時間：24時間